



未来型のテスト問題って？「未知×楽しい」編

覚えたことや学んだことを確認し、その成果を“測る”テストに対し、初めて出会う、初めて考える＝未知だから“オモシロイ”未来型のテストがあると言います。テストなのに、“オモシロイ”……？それはどのようなものなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。



問 (図)は、ウミガメが食料としているクラゲの写真を。近年、ウミガメが海洋にただよっているビニール袋をクラゲとまちがえて食べてしまい、それが原因で死んでしまうことが問題となっています。

ウミガメをそのような被害から救うためにどのようなビニール袋をつくれればよいと思いますか。あなたの考えを50字以内で答えなさい。ただし、ビニール袋として通常使用できる利便性は失わないものとします。

未来をつくる私学の学び
シカクイアタマをマルくする。
芝浦工業大学附属中学校
中学入試問題
2019年(理科)

科学者のように。
科学者には、未知の世界を探求する好奇心と、未知の世界を解明する探究心があります。未知の世界を探求する好奇心と、未知の世界を解明する探究心があります。未知の世界を探求する好奇心と、未知の世界を解明する探究心があります。

問題の解答・解説や見どころ、出題意図やインスピレーションを公式サイトで！

私学の学びを高度な授業 導入型授業、

日能研 検索

日能研の電車内広告「シカクイアタマをマルくする。」

「知らない」からこそ楽しいテスト

知らないこと、初めて出会うことに心が動く瞬間。たくさんの「？」や「！」が生まれる。そこから動き出す思考……。日能研のテスト問題は、未知と出会い、「考える」ことを楽しむ“学びの道具”であることを具現化しています。例えば右の問題。「日本らしい遊びってなんだろう」「そもそも“らしさ”って？」「日本人の僕が楽しいと思う遊びを、アメリカに住んでいるレイくんも楽しくと感じてくれるかなあ」……。あらかじめ決められた正解がないテスト問題だからこそ、子どもの思考は自由に、縦横無尽に羽ばたき始めます。自分が住む日本について初めて深く考えたり、どこかで目にしたことのある羽子板や双六に思いをはせたり……。子どもにとって、世界は未知だらけ。未知と出あった時に知らないからと背を向けず、前のめりになって考えることができるチカラが子どもたちの未来をつくと日能研は考えます。

未来を生きる子どもたちは、さまざまな課題と共存していくことになるでしょう。左の「シカクイアタマをマルくする。」にあるような、SDGs(持続可能な開発目標)に関わる海洋問題もそのひとつです。ビニール袋をなくしてしまえばいいのかもしれない。でもそれによって失われる利便性があることも、また事実。ではどうすれば……。SDGsで掲げられている17の目標。目標達成に至る道筋も未知、その先にある未来も未知です。



そんな世界である次代の担い手にまず、知ってほしい、感じてほしい。そして“いま”、(私自身)のごととしてアタマとココロをフル回転させて考えてほしい。これまでの経験や体験から得た知識をつなぎ合わせ、自由に発想し、「まだ見ぬ何か」を生み出していくワクワク感を。未知だから「考える」が動き出す。——その先にある無限の可能性に向かって。さあ、レイくんどんな遊びをしますか？

テストが変われば、学びが変わる。
学びが変われば、社会が変わる。
社会が変われば、未来が変わる。
(日能研全国テスト)で、どうぞ体験してください。



「図」は、ある国産の「アタママルく」の箱を開いたときの様子を示している。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。

この箱には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。

「アタママルく」は、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。箱の中には、右の通り「アタママルく」が10個入っている。

5年 国語の問題

未知を楽しむテストで、 答えを“生み出す”チカラを育む。



わかるわかる日能研 Vol.2 Nバッグ

日能研生が通塾時に使うNバッグ。子どもたちは「Nバッグ」とも「Nかばん」とも呼んでいます。初代のNバッグは1980年代半ばに誕生。デニム生地の高かげタイプでした。2代目からはリュックタイプとなり、現在の4代目まで一貫して、真ん中には「N」のマークが、電車やバスを使って通う日能研生も多く、通塾先の街でも「日能研生」として温かく見守ってもらうことに役立っています。現行の「N」はライトが当たると光る反射布を使っています。日能研入会時にお渡しするこのNバッグは一般への頒布、販売はありません。日能研生のものであり、証なのです。そして入試当日は、「私学の人」になる準備を進めてきた自信と誇りをいっばいに詰め込んで憧れの門を一歩にたくる。日能研生の強い味方となるのです。

初代Nバッグ 4代目Nバッグ

日能研経由、私学へ。——そして未来へ。

6/9 小2 6/16 小3 小4 小5

日能研 全国テスト 特別無料

【科目】2科目(国語・算数) 【時間】1回目 9:00集合 / 2回目 13:00集合
【会場】お近くの日能研各校

※学校行事などご都合つかない場合は、必ずお見積りにご連絡ください。お見積りのご都合が可能な限り、お見積りおよびお申し込みの期日は、お申し込みの日の前日です。お申し込みの期日は、お申し込みの日の前日です。

「日能研全国テスト」の詳細とお申し込みはこちら

日能研 検索

www.nishiken.co.jp

または、お近くの日能研まで。

日能研



未来型のテスト問題って? 「未知×楽しい」編

覚えたことや学んだことを確認し、その成果を“測る”テストに対し、初めて出会う、初めて考える＝未知だから“オモシロイ”未来型のテストがあると言います。テストなのに、“オモシロイ”……？それはどのようなものなのか、朝日新聞「わかるわかる運動」が日能研に聞いてみました。



問 (図)は、ウミガメが食料としているクラゲの写真です。近年、ウミガメが海洋にただよっているビニール袋をクラゲとまちがえて食べてしまい、それが原因で死んでしまうことが問題となっています。



ウミガメをそのような被害から救うためにどのようなビニール袋をつくれればよいと思いますか。あなたの考えを50字以内で答えなさい。ただし、ビニール袋として通常使用できる便利さは失わないものとします。

未来をつくる私学の学び
シカクいアタマをマルくする。
芝浦工業大学附属中学校
中学入試問題
2019年〈理科〉

科学者のように。
いま、最先端の科学者や研究者たちが直面している課題と一緒に考えてみよう。解決の入り口となる「こんなものがあつたらいいな」という思いつきは、大人も子どもも同じ。さあ、あなたのアイデアは？——そんな私学(私立中高一貫校)からのメッセージが込められた問題です。

問題の解答・解説や見どころ、出題意図やインタビューを公式ウェブサイト！

私学の学びを見直す視点 詳しくはウェブで。
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
日能研 検索
www.nichinoken.co.jp
日能研

日能研の電車内広告「シカクいアタマをマルくする。」

「知らない」からこそ楽しいテスト

知らないこと、初めて出会うことに心が動く瞬間。たくさんの「？」や「！」が生まれる。そこから動き出す思考——。日能研のテスト問題は、未知と出会い、「考える」ことを楽しむ“学びの道具”であることを具現化しています。例えば右の問題。「日本らしい遊びってなんだろう」「そもそも“らしさ”って?」「日本人の僕が楽しいと思う遊びを、アメリカに住んでいるレイくんも楽しいと感じてくれるかなあ」……。あらかじめ決められた正解がないテスト問題だからこそ、子どもの思考は自由に、縦横無尽に羽ばたき始めます。自分が住む日本について初めて深く考えたり、どこかで目にしたことのある羽子板や双六に思いをはせたり……。子どもにとって、世界は未知だらけ。未知と出あった時に知らないからと背を向けず、前のめりになって考えることができるチカラが子どもたちの未来をつくると日能研は考えます。

未来を生きる子どもたちは、さまざまな課題と共存していくことになるでしょう。左の『シカクいアタマをマルくする。』にあるような、SDGs(持続可能な開発目標)に関わる海洋問題もそのひとつです。ビニール袋をなくしてしまえばいいのかもしれない。でもそれによって失われる便利さがあることも、また事実。ではどうすれば……。

SDGsで掲げられている17の目標。目標達成に至る道筋も未知、その先にある未来も未知です。📌

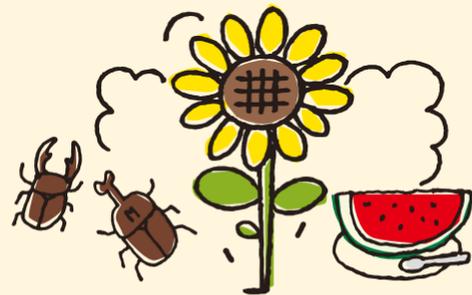


解答例はコチラ



☑ そんな世界であると次代の担い手にまず、知ってほしい、感じてほしい。そして“いま”、〈私自身〉のこととしてアタマとココロをフル回転させて考えてほしい。これまでの経験や体験から得た知識をつなぎ合わせ、自由に発想し、「まだ見ぬ何か」を生み出していくワクワク感を。未知だから「考える」が動き出す。—その先にある無限の可能性に向かって。さあ、レイ君とどんな遊びをしますか？

テストが変われば、学びが変わる。
 学びが変われば、社会が変わる。
 社会が変われば、未来が変わる。
 〈日能研全国テスト〉で、どうぞ体験してください。



**未知を楽しむテストで、
 答えを“生み出す”チカラを育む。**



「レイ君は日本のことを知りたいのかあ。そうだ！日本らしい遊びでいっしょに遊ぶのはどうだろう。どんな遊びにしようかなあ」

タロウ君はレイ君とどんなことをして遊ぶかと考え始めました。

【問い】
 タロウ君は、レイ君といっしょに日本らしい遊びで遊ぶとき、どのような遊びにしようかと考え始めたようです。
 もし、あなたがタロウ君だったら、レイ君といっしょにどのような日本らしい遊びをしますか。また、なぜその遊びを選んだのかという理由についても、説明しましょう。

「レイ君は日本のことを知りたいのかあ。そうだ！日本らしい遊びでいっしょに遊ぶのはどうだろう。どんな遊びにしようかなあ」

タロウ君はレイ君とどんなことをして遊ぶかと考え始めました。

タロウくんへ
 こんにちは、はじめまして。
 こんど、にほんにいったときに、タロウくんのうちにあそびにいこうよていです。タロウくんのうちにいくのは、はじめてなので、とてもたのしみです。
 ぼくは、にほんのことをあまりしらないので、にほんについていろいろおしえてください。
 レイ

「レイ君は日本のことを知りたいのかあ。そうだ！日本らしい遊びでいっしょに遊ぶのはどうだろう。どんな遊びにしようかなあ」

タロウ君はレイ君とどんなことをして遊ぶかと考え始めました。

タロウ君はレイ君からの手紙を読みました。

5年 国語の問題

わかるわかる日能研 Vol.2
 Nバッグ

日能研生が通塾時に使うNバッグ。子どもたちは「Nバッグ」とも「Nかばん」とも呼んでいます。初代のNバッグは1980年代半ばに誕生。デニム生地（注）の肩かけタイプでした。2代目からはリュックタイプとなり、現在の4代目まで一貫して、真ん中には「N」のマークが。電車やバスを使って通う日能研生も多く、通塾先の街でも「日能研生」として温かく見守ってもらうことに役立っています。現行の「N」はライトが当たると光る反射布（注）を使っています。日能研入会時にお渡しするこのNバッグは一般への頒布、販売はありません。日能研生のものであり、証なのです。そして入試当日は、「私学の人」になる準備を進めてきた自信と誇りをいっぱい詰め込んで憧れの門と一緒にくぐる、日能研の強い味方となるのです。



日能研経由、私学へ。—そして未来へ。

6/9 小2 6/16 小3 小4 小5

日能研全国テスト 参加無料

【科目】2科目(国語・算数) 【時間】1回目 9:00集合 / 2回目 13:00集合
 【会場】お近くの日能研各校

※学校行事などでご都合がつかない場合は、どうぞお気軽にご相談ください。別日程のご案内が可能です。※開催および実施要項が一部異なる場合があります。詳しくは、日能研公式ウェブサイトまたは、お近くの日能研まで。

〈日能研全国テスト〉の詳細とお申し込みは、

日能研 検索

www.nichinoken.co.jp

または、お近くの日能研まで。

お申し込みはこちらから

